

○学生支援部門

1. バリアフリー推進室関連

① 学生相談件数

3 キャンパスにおける相談体制強化を図り、相談件数は前年度を更に上回った。

バリアフリー推進室	区分	水戸	日立	阿見	計
キャンパス別・相談件数	延べ人数（名）	1233	663	330	2226
	実人数（名）	172	98	35	305

※ 過去相談件数との比較

2017年度にバリアフリー推進室が全学教育機構下に入り本格始動してから、3 キャンパスでの相談体制を整備し、相談件数は格段に伸びた。2019年度は前年度を更に上回る相談件数となっている。

2016年度（水戸キャンパスのみ）：延べ人数 307 名 実人数 41 名

2017年度（水戸・日立・阿見 合計）：延べ人数 1519 名 実人数 201 名

2018年度（水戸・日立・阿見 合計）：延べ人数 1855 名 実人数 248 名

② 授業等における合理的配慮手続き

- ・ 配慮に向けての相談及び実際の手続き等を行った人数 21 名
- ・ これらの学生が受講する各授業の配慮内容検討と各部局との適切な配慮の調整等をコーディネートした。

③ 2020 年度入試における障害等のある入学志願者の事前相談

- ・ 受験上等配慮人数 実人数 20 名
- ・ 申請のあったこれら受験者の適切な配慮について、受験者とのやり取り、当該部局との適切な配慮の調整等を行った。

④ ピアサポーターの育成

2018 年度に茨城大学学内における専門ピアサポーター認定制度を新たに整備し、研修や認定試験合格後に全学教育機構長による認定を受け、正規活動を行う形を整えた。

1) ピアサポーター・ゆめ大会サポートボランティア情報提供希望登録学生数 104 名

2) 専門ピアサポーター認定学生数 7 名

3) 専門ピアサポーター養成講座（研修会）開講及び認定試験実施：計 7 回

- ・ 2019 年 4 月 15 日 「ピアサポーターとしての心構え①」
- ・ 2019 年 5 月 20 日 「ピアサポーターとしての心構え②」
- ・ 2019 年 6 月 13 日 「精神障害を理解する①」
- ・ 2019 年 6 月 21 日 「発達障害を理解する①」

- ・2019年6月27日 「精神障害を理解する②」
- ・2019年7月8日 「発達障害を理解する②」
- ・2020年2月10日 専門ピアサポーター（運営ピアサポーター）認定試験

⑤ アクセシビリティリーダーの育成

多様な可能性を開拓する社会の構築推進をしていくために、必要なアクセシビリティに関する知識・技術・経験とコーディネート能力をもった人材を輩出することを目的とした、アクセシビリティリーダーの育成のための体制整備等を行った。

2019年度は、昨年度に引き続きアクセシビリティ教育第1課程及び、新たに第2課程の承認をアクセシビリティリーダー育成協議会より得て所定の講座を開講し、本学からアクセシビリティリーダー認定試験合格者1級2名（内、学生2名）2級9名（内、学生7名、教員2名）を輩出した。

⑥ ピアサポ室

障害のある学生とピアサポーターが学修や生活に関する相談ができる場所として、2018年度に開設した。履修や研究に関する相談、アルバイトに関する悩み、発達障害のある学生のパニック時の落ち着ける場所などとして利用されている。

* 2019年度利用学生数 延べ人数 102名

⑦ 障害のある学生を対象とした自主学習室の整備

2017年度に開設し、試験的に運用していた主に発達障害や精神障害のある学生の学習や休息のスペースである自主学習室（やすらぎルーム、水戸キャンパス共通教育棟1号館131室）について、2018年度より運用を本格始動し、2019年度も一定の需要があった。

※ 2019年度利用学生数 延べ人数 148名

2. キャリアセンター関連

① 就職ガイダンス関連（資料2-C-01-1：就職ガイダンス実施日程）

以下のとおり、実施した。

1) 就職ガイダンス

日時：毎週水曜3限

開催回数：66回（水戸キャンパス）

参加者：合計延べ1673名

場所：図書館3F ライブラリーホール ほか

内容：学生のインターンシップ参加や就職活動支援ガイダンス

※ 日立・阿見キャンパスでも開催しており、日立38回（参加延べ1968名）、阿見39回（参加延べ1033名）実施した。

2) 就活準備講座、テーマ勉強会（資料2-C-01-2：就活テーマ勉強会）

日時：第3クォーター（iOPクォーター）期間

開催回数：8回×2クラス（メンバー固定の火曜クラス、自由参加の金曜クラス）

参加者：合計延べ 128名

場所：スチューデントコモンズ

② 説明会

1) 合同企業説明会（資料 2-C-02：合同企業説明会）

水戸キャンパスでは下記日程にて8月より準備を行っていたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。代替措置として3月以降、説明会参加企業を主とした資料提供ブースを共通教育棟 1F 出入口に新たに設けるなどの措置を講じた。

日時：2020年3月1日（日）、2日（月）、3日（火）10：00～16：00

場所：図書館 1F 共同学習エリア

内容：学部3年生、修士1年生を対象とした就職のための企業説明会

参加企業：216社

※ 日立キャンパスでも中止とした。代替措置として、合同企業説明会ガイドブック及び出展を予定していた企業等のパンフレットの設置・配布等を講じた。2019年度は企業研究会を2020年2月17日(月)～20日(木)、企業説明会を2020年3月2日(月)～5日(木)に予定していた。（参加企業 226社）

2) 国家・地方行政団体等業務説明会（資料 2-C-03：国家・地方行政団体等業務説明会）

日時：2020年2月19日（水）12：30～16：40

場所：図書館 1F 共同学習エリア

内容：学部3年生、修士1年生を対象とした行政機関説明会

参加者：37団体、学生延べ 588名

③ インターンシップマッチングフェア

1) 茨城大学学内インターンシップマッチングフェア キャリアセンター主催（資料 2-C-04：インターンシップマッチングフェア [学内]）

日時：2019年6月5日（水）14:00～16:00

場所：図書館 1階共同学習エリア

内容：茨城県内企業への就職を考える、学部1年～3年生を対象とした、インターンシップマッチングフェア

参加者：12社 学生延べ 53名

2) 若手 OB/OG 交流会&インターンシップマッチングフェア COC プラス事業と共催（資料 2-C-05：インターンシップマッチングフェア [COC+]）

日時：2019年7月6日（土）10:00～16:15

場所：駿優教育会館

内容：学部1～3年生を対象とした企業等 26社のインターンシップマッチングフェア

参加者：72名

④ 業界研究

1) 「就活応援バスツアー 茨キャリア号」キャリアセンター主催 (資料 2-C-06 : バスツアー)

日時：2020年2月18日(火) 8:30~16:40

場所：茨城セキスイハイム、JA 茨城中央会、イトウ製菓、ユードム

内容：企業を訪問し、会社説明・職場見学・若手職員との座談会・質疑応答

参加者：5名

2) 業界研究会 (資料 2-C-07 : 業界研究会)

日時：2019年12月~2020年2月

場所：キャリアセンター

内容：学生が直接業界の情報収集を濃密にできる機会として学内に企業を迎え開催

参加者：19業界、学生延べ104名

⑤ 実践的な就職支援

1) 未内定者向けキャリア相談

日時：2019年9月2、3、9、10、24日

内容：夏時点で未内定の者に向けた就職相談会

参加者：延べ14名

2) 面接練習会

開催回数：22回

参加者：延べ114名

3) グループディスカッション対策講座

開催回数：22回

参加者：延べ226名

4) 就職模擬面接会 人文社会学部と共催

日時：2019年12月11日(水)

場所：人文社会学部

内容：2社の企業人事担当者を迎えての模擬面接会

5) 内定者セミナー

日時：2019年12月11日(水)

場所：図書館1階共同学習エリア

内容：今年度内定の決まった4年生による3年生への就活のノウハウの説明会

⑥ 就職支援関連における上記以外の活動

1) キャリア教育

1年次からの体系的なキャリア教育の構築に関しては、身近な社会を知る1年次の「茨城学(必修)」、前年度に引き続き1年次第4クォーター、2年次第2クォーターに「仕事を考える(選択)」をCOC及びCOCプラス事業と連携して開講した。また、昨年につき1・2年次対象に「インターンシップ実習(1単位・選択)」を開講した。

更に、今年度は新たに、日立キャンパスにて2年次が履修できる「キャリアデザイン論(1単位・選択)」を開講した他、3年次に「ライフデザイン(1単位・必修)」を下記の通り、学部と連携して開催した。社会に出て活躍できる能力を身に付け、働く意義を理解し、自らの将来に思いをめぐらし、今後の主体的な生き方を設計できる能力の基礎をつくる。大学での学びを活かし、キャリアを考えるための3年次必修授業をキャリア教育体系に位置付けた。

科目名「ライフデザイン-社会と私」	
学部	受講者数 (合計 1603 名)
人文社会科学部 L1	188
人文社会科学部 L2	181
教育学部 P1	174
教育学部 P2	102
理学部 S1	100
理学部 S2	96
工学部 T1	270
工学部 T2	266
工学部 T3 フレックス	44
農学部 A	168
各学部共通集中講義	14

2) 茨大キャリアナビの機能強化

キャリアセンターで利用している「茨大キャリアナビ」の機能を活用し効率化と活性化を図った。学生のログイン方法を教務情報ポータルシステムと同じ方法にするシボレス認証にカスタマイズすることにより利便性を向上させた。また、一元管理したWEB予約システムについても予約状況をセンター内に共有することにより学生の間合せ等に速やかに対応できるよう見直した。また、予約無しの相談にも随時できる限り対応した。

3) iOP の周知 (資料 2-C-08 : iOP インターンシップ[JICE])

iOPのインターンシップとして、2018年度に連携協力協定を締結した一般財団法人日本国際協力センター(JICE)との連携企画としてSDGs体験インターンシップ(2019年10/2~10/30 毎週水

曜日開催 6 名参加)を企画・実施した。

4) 留学生を対象とした就職支援 (資料 2-C-09 : 留学生のための就職研究会[JICE])

学生を対象とした就職支援を今年度新たに手掛けた。JICE 日本国際協力センターと連携し「留学生のための就職研修会」を各 8 回開講した (2019 年 11/6、11/20、12/4、12/18、2020 年 1/8、1/22、2/5、2/19)。

5) キャンパス間の格差是正

3 地区に就職支援担当部署を置き、キャリアカウンセラーによる就職相談、就職ガイダンスをはじめ各種就職支援が同様に行われる体制をとっており、2019 年 9 月 20 日に「カウンセラー会議 (3 地区)」を実施し、各キャンパスの情報共有及び課題共有を行った。また、キャリアセンター専任教員が日立・阿見キャンパスに出向き、各キャンパスの課題把握に努めた。

6) 海外インターンシップ

「日立オートモティブズ (HAMS) 海外事業所インターンシップ」を工学部主導のもとサポートし実施 (約 2 週間の本格的な海外インターンシップ、理工学研究科学生対象、中国 1 名)、また「青年中国上海スタディーツアー」(茨城県国際交流協会主催、キャリアセンターサポート、2020 年 3 月 2 日～6 日、参加学生 6 名) の開催を予定し準備を行っていたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止とした。

7) 障害のある学生への就職支援

発達障害等のある学生について、昨年度に引き続きキャリアセンターのキャリアカウンセラー及びバリアフリー推進室カウンセラーによる就職に関するカウンセリング、日立キャンパスにおけるランチ会企画等の支援を実施した。

8) キャリアセミナー

キャリアを見据えた大学生の研究テーマの見つけ方講座として(株)リバネスを講師に招き「キャリアディスカバリーセミナー」を開催した (2019 年 10 月 30 日、参加 4 名)

まち・ひと・しごと創生本部で作成した「RESAS」地域分析資料を就職活動に役立てるため経済産業省関東経済産業局より講師を招き「地域経済分析システム「RESAS」研修会」を開催した (2019 年 11 月 27 日、参加 17 名)。

9) 新型コロナウイルス感染症対応

2020 年 3 月に予定されていた学内合同企業説明会を新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から学生の安全を第一に考え中止を決定した。代替策として感染対策を講じた上での資料コーナーの設置、4 月からの遠隔相談体制の構築など、多くの規制がある中でも学生に必要な対策を講じた。また、就職活動の移動が規制されている中で様々な不安を抱えている学生を支援するため、コロナ禍での安全に配慮した就職ガイダンス・説明会を実施すると共に、キャリア相談数を増加し、一人一人に寄りそった対応を行った。

新型コロナウイルス感染症拡大防止策として、センター内3密の解消、飛沫防止版、手指消毒薬の設置など感染防止に努めた。また、キャリア相談の遠隔実施について検討を実施した。

(2020年4月から遠隔対応の相談体制を構築)

3. 学長と学生の懇談会 主催 (資料 2-G-01 : 2019 年度前学期 学長と学生の懇談会 (実施報告)、資料 2-G-02 : 2019 年度後学期 学長と学生の懇談会 (実施報告)、資料 2-G-03 : 2019 年度学長と農学部学生の懇談会 (実施報告))

① 2019 年度前学期 学長と学生の懇談会

日時 : 2019 年 7 月 10 日 (水) 14 : 30 ~ 17 : 00

場所 : 社会連携センター3階 研修室

内容 : 学部 2 年次以上を対象として、「ディプロマポリシー」や「iOP」などの本学の新たな取り組みや学生生活について、三村学長の進行のもと、クリッカー (即時型集計処理機器) を活用し議論を深めた。学生から出された意見については当該部局に問い合わせ、対応内容一覧を学内に掲示し学生への周知を図り、学生と教職員とのパートナーシップ向上を目指した。

参加者 : 学生 48 名 (5 学部 : 2~4 年生)、教職員 14 名 (三村学長、太田理事・副学長ほか)。

成果 : 懇談会終了後の参加学生を対象としたアンケート調査結果から、概ね目的は達成されたと判断された。

② 2019 年度後学期 学長と学生の懇談会

日時 : 2020 年 1 月 24 日 (金) 16 : 00 ~ 17 : 30

場所 : 共通教育棟 2 号館 4 階 41 番教室

内容 : 新入生を対象として、大学入学前後での大学生活における印象の違いをはじめ、本学の新たな取り組みや大学生活全般で感じたことなどについて、太田理事 (学長代理) の進行のもと、クリッカー (即時型集計処理機器) を活用し、太田理事が質問をしながら議論を深めた。学生から出された意見については当該部局に問い合わせ、対応内容一覧を学内に掲示し学生への周知を図り、学生と教職員とのパートナーシップ向上を目指した。

参加者 : 学生 55 名 (5 学部、1 年生)、教職員 12 名 (太田理事・副学長ほか)。

成果 : 懇談会終了後の参加学生を対象としたアンケート調査結果から、概ね目的は達成されたと判断された。

③ 2019 年度 学長と農学部学生の懇談会

日時 : 2019 年 12 月 4 日 (水) 14 : 30~16 : 15

場所 : 農学部 100 番講義室

内容 : 農学部学生を対象に、事前に学生から出された教育及び学生生活への意見等について、クリッカー (即時型集計処理機器) を用いて回答してもらい、その回答結果をもとに学長が学生に質問を投げかけ、関連する話題を引き出して議論を深めた。

参加者 : 学生 47 名 (2~4 年生)、教職員 13 名 (三村学長、戸嶋農学部長ほか)。

成果 : 懇談会終了後の参加学生を対象としたアンケート調査結果から、概ね目的は達成されたと判断された。

4. 学生支援に関する FD/SD 主催 (資料 2-G-04 : ゲートキーパー養成講座チラシ、資料 2-G-05 ゲートキーパー養成講座アンケート集計結果)

① ゲートキーパー養成講座

日時 : 2019 年 2 月 12 日 (火) 15:00 ~16:30

場所 : 共通教育棟 2 号館 11 番教室 (日立・阿見キャンパス VCS 配信)

内容 : 白鳥裕貴医師 (茨城県立こころの医療センター 精神科) より、①大学生の自殺の背景、②大学生の自殺予防、③自殺が起こった時の対応などについて、説明があった。

参加者 : 教職員 57 人 (水戸 32 人、日立 12 人、阿見 13 人)

成果 : 講座終了後の参加者を対象としたアンケート調査 (回答者 30 人) より、90%がゲートキーパーへの理解が深まり、50%が自身にとって非常に有益な内容だったと評価していることが確認された。しかしながら全学の教職員数をふまえると、今回の参加者数は極めて少ない。今後更にゲートキーパー等の認知を広めるための機会の提供が必要と考えられた。

5. 各学部における学生担任マニュアルの制度化 (資料 2-G-06 : 担任マニュアル作成報告 (教育研究評議会資料))

学生支援部門会議及び中央学生委員会にて意見交換及び調整をし、2018 年度に作成した見本マニュアルを参考に各学部で調整をし、2019 年度は試行期間として充実を図り学部単位での学生担任マニュアルを作成した。

6. いきいき茨城ゆめ大会 iOP 関連

茨城県の協力要請を受け、本学がいきいき茨城ゆめ大会選手団サポートボランティア養成校となった。サポートボランティアを養成するとともに、ボランティア活動を iOP 及びボランティア授業単位として認定するための制度整備を行い、約 100 名のボランティアを育成した。しかしながら、台風 19 号の影響により大会が中止となったため、代替ボランティア活動を行い、以下のとおり認定した。

- ・ゆめ大会代替ボランティア参加学生数 49 名
- ・ゆめ大会代替ボランティア iOP 認定学生数 32 名